

平成 25 年度 第 1 回 長野市総合計画審議会

資 料 集

【資料 1】

| | |
|----------------|---|
| 平成 25 年度「市政方針」 | 1 |
|----------------|---|

【参考資料】

| | |
|-----------------------------------|----|
| 長野市総合計画審議会委員名簿（平成 25 年 4 月 1 日現在） | 29 |
| 長野市部局長名簿（平成 25 年 4 月 1 日現在） | 30 |
| 企画課事務局体制（平成 25 年 4 月 1 日現在） | 31 |
| 長野市総合計画審議会の開催予定等について | 32 |

【別冊資料】

平成 25 年度版 第四次長野市総合計画 実施計画（主要事業計画）

平成 25 年 4 月 24 日

長 野 市

平成25年度 「市政方針」

長野市

1/54

平成25年度
優先施策

1 新幹線延伸に対応したまちづくり〈優先施策〉

【基本施策511】多様な観光交流の推進〈重点施策〉

●施策511-02 効果的な情報発信と広域的連携

【基本施策611】多核心連携を目指したコンパクトなまちづくりの推進〈重点施策〉

●施策611-01 秩序ある市街地の形成と中心市街地の再生

【基本施策621】交通体系の整備〈重点施策〉

●施策621-01 公共交通機関の整備

2 地域に根ざす産業づくり〈優先施策〉

【基本施策022】中山間地域の振興〈重点施策〉

●施策022-01 中山間地域の魅力の向上

【基本施策521】未来に向けた農業の再生・振興〈重点施策〉

●施策521-01 地域農業の確立と経営基盤づくり

●施策521-02 消費者や市場と結びついた産地づくり

3 健やかで安心なまちづくり〈優先施策〉

【基本施策311】防災対策の推進〈重点施策〉

●施策311-01 防災体制の整備

【基本施策441】スポーツを軸としたまちづくりの推進〈重点施策〉

●施策441-03 スポーツ環境の整備・充実

【基本施策431】多彩な文化の創造と文化遺産の継承〈重点施策〉

●施策431-01 文化芸術活動への支援と文化の創造

2/54

「効果的な情報発信と広域的連携」

3/54

効果的な情報発信と広域的連携

長野市観光情報センター再整備

新幹線金沢延伸に向けてフロア拡張と機能強化を行います。

長野市観光情報センターのある長野駅は、JRや二次交通機関のハブ駅



長野市観光情報センター

○信州観光の玄関口にふさわしく情報案内をさらに広域化

○県内各地につながる二次交通案内充実など、ワンストップサービス化

○長野市での滞在促進や周辺への回遊性を高めるための旅行商品を案内・販売

○地域イベント情報など、旬な情報の案内充実

4/54

新幹線延伸対策

○集客プロモーションパートナー都市協定

これまでに、**金沢市、富山市、上越市、甲府市、静岡市**と締結

〈主な支援・協力内容〉

広報紙にお互いの観光情報を掲載するほか、市有施設へのポスター掲示、共同プロモーション事業の実施などを行い、連携した観光誘客を図ります。

〈今年度の主な取り組み〉

北陸地域との連携を強化するため、新たに福井市との締結に向けて準備を進めます。

金沢市と連携して首都圏、関西圏に向けて共同プロモーションを実施します。

○北陸新幹線停車駅都市観光推進会議

金沢市・高岡市・富山市・黒部市・糸魚川市・上越市・飯山市・長野市・上田市・高崎市が加盟しています。首都圏に向けて共同プロモーションを実施します。

5/54

観光宣伝

6/54

長野市総合観光宣伝キャラバンなど、さまざまな観光誘客宣伝活動を県外で実施します。首都圏や北陸・関西圏に向けて多くの観光情報を提供していきます。

広域観光推進

○信越観光圏協議会

北信地域14市町村と上越市、妙高市の16市町村で、2泊3日以上旅行商品の企画など誘客事業を実施します。

基本コンセプト「善光寺発こころの旅路『信越ふるさと回廊』」

構成市町村

長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、山ノ内町、小布施町、信濃町、坂城町、小川村、高山村、飯綱町、野沢温泉村、木島平村、上越市、妙高市

観光圏整備計画の期間：平成24年4月1日～平成29年3月31日

〈今年度の主な取り組み〉

- ・高速道路フリーパス「信越ふるさと回廊パス」の発行
- ・温泉を活用した健康増進プログラムの開発 ほか



善光寺発こころの旅路
信越ふるさと回廊

シティプロモーション

長野市には、さまざまな魅力があります。
例えば…



【善光寺 平成27年4月
7年に1度の御開帳】

【AC長野パルセイロ】



【農業体験型民泊】

市内外に本市の魅力鮮明に発信し続ける体制を構築することにより、観光交流人口や定住人口の増加、さらには企業誘致の増加、地元産品の販路拡大など産業振興を図ります。

7/54

8/54

■期待される効果

- ①市民 → ・長野市の魅力を認識・再認識し、愛着を醸成
・長野市民としてのプライド・自信を高める
- ②市外の皆さん → 観光交流人口増加、企業誘致増加、定住人口増加



■オール長野での取り組み

長野に関わるあらゆる人が、長野の良さを認識して愛着や誇りを持っていただくために、官民一体となって「ながのシティプロモーション実行委員会」を組織し、「オール長野」で各種事業に取り組みます。

■取り組みの重点期間

新幹線が延伸され、善光寺御開帳が開催される平成27年度まで

■主な個別事業(現段階で想定しているもの)

- ①専用ホームページの開設・運用 
- ②長野市のキャッチフレーズ及びロゴマークの制作
- ③イメージキャラクター(大使)の任命
- ④プロモーションビデオの制作 

「秩序ある市街地の形成と 中心市街地の再生」

9/54

秩序ある市街地の形成と中心市街地の再生

第二期中心市街地活性化基本計画 計画期間H24.4～H29.3 <全40事業>

善光寺
大門交差点
新田町交差点
もんぜんぶら座運営事業
JR長野駅
長野駅善光寺口顔づくり事業
長野駅周辺第二土地区画整理事業

- 善光寺周辺地区街なみ環境整備事業
(電線地中化、道路美装化など)
- 権堂B-1地区市街地再開発事業
(街の玄関口として住宅、業務、広場整備)
- 中央通り歩行者優先道路化事業
(歩道拡幅、歩車道の石畳化など)
- 情報発信拠点整備事業
(まちづくりセンターの運営支援)
- 集客イベント開催事業
(花回廊、七夕祭り、びんずる)

中心市街地活性化基本計画エリア 約200ha

10/54

中央通り歩行者優先道路化事業

【目的】中央通りを車中心から歩行者にやさしい通りとすることにより、まちなかの回遊性を向上させ、歩いて楽しい街とし、善光寺表参道としての魅力向上と機能充実により、中心市街地の活性化を図る。

【整備内容】車道側へ1.5mずつ歩道を拡幅、石畳化、ベンチの設置、植栽の整理 など



権堂B-1地区市街地再開発事業

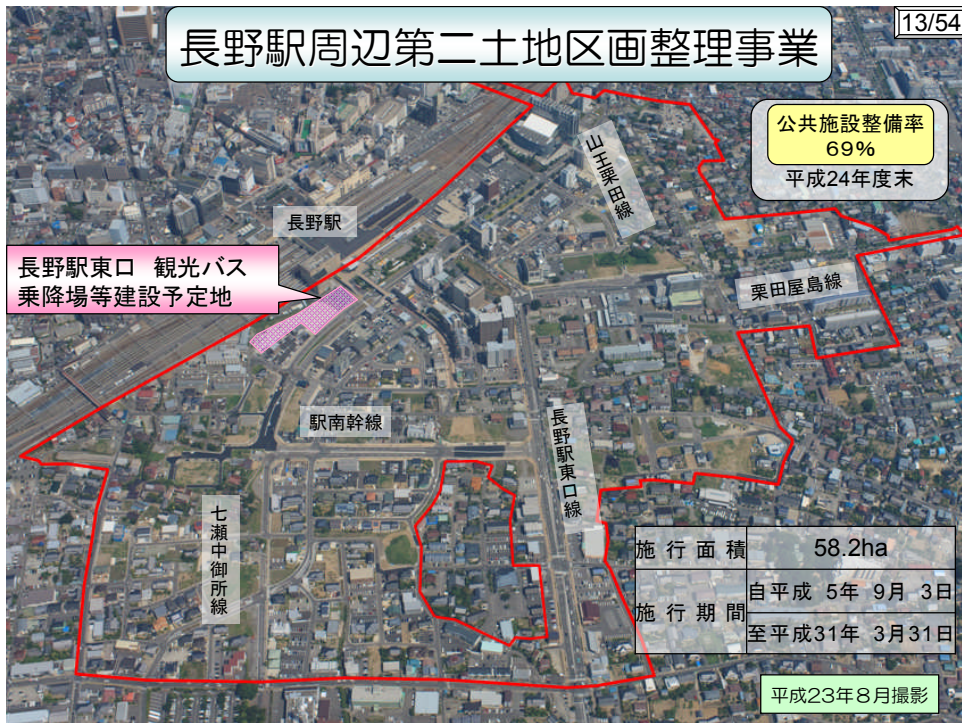
コンセプト 「街の玄関口として、人が訪れ、住みたくなるまちづくり」

平成25年5月頃 建築工事に着工 平成26年度完成を目標



外観イメージ図 ※完成予想図は設計図を基に作成したもの。形状、色などは変更の場合あり。

12/54



長野駅善光寺口駅前広場整備事業

今の長野駅善光寺口は、平成9年の長野新幹線開業や翌年の長野オリンピック開催に間に合わせるため、暫定的な整備となっている

《デザインコンセプト》

歴史・伝統と豊かな自然を生かした長野らしい「おもてなしの心」を駅前広場で表現し、長野の存在感を全国にアピールする

《駅前広場のデザイン》

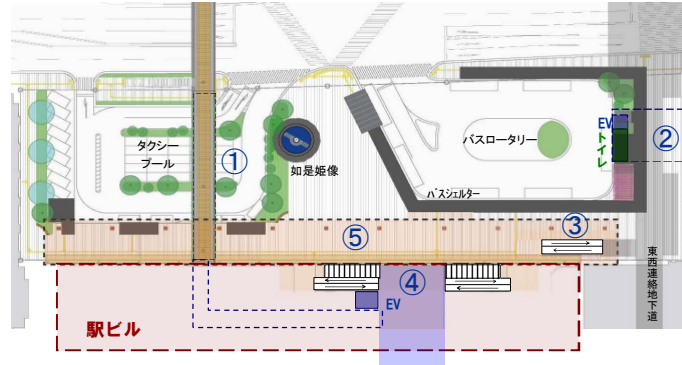
仏都長野の玄関口として堂々とした雰囲気の大庇・列柱を整備する



昨年9月から工事着工し、平成27年3月の新幹線金沢延伸までに整備完了

[14/54]

《整備計画図》



《整備概要》

- ①歩行者専用デッキ
- ②地下道(エレベーター、地下公衆トイレ)
- ③地下道出入口エスカレーター
- ④東西自由通路(エスカレーター、エレベーター)
- ⑤大庇・列柱

15/54

「公共交通機関の整備」

16/54

① 長野市公共交通ビジョンの策定

本市を取り巻く状況

【社会経済環境】

- ・少子高齢化、人口減少
- ・車社会の進展
- ・厳しい財政状況
- ・環境に対する市民意識の高揚
- ・「買物難民」など交通弱者の発生
- ・H27に善光寺御開帳 など

【公共交通の状況】

- ・公共交通の利用者減少
- ・路線廃止等による交通不便地域の発生
- ・事業者の経営悪化と増大する行政負担
- ・KURURUなど、新たなサービスの開始
- ・H27に新幹線延伸と長野以北並行在来線の経営移管 など

【その他 勘案すべき事項】

- ・新交通システムの導入検討
- ・JR長野～豊野駅間における新駅 など

本市公共交通の将来像を明らかにするとともに、実現に向けた施策を体系的に整理し、計画的に展開するための「長野市公共交通ビジョン」を策定します。

17/54

② 千曲川新道活性化プラン

基本構想(活用策)

●線路敷地

➢自転車道・遊歩道



●綿内駅周辺

➢休憩所・バス待合所
➢バスロータリー整備

●信濃川田駅周辺

➢屋代線メモリアルパーク
➢休憩所・バス待合所

●松代駅周辺

➢休憩所・バス待合所
➢地区振興計画や歴史的風致維持向上計画と整合を図り、事業実施

●その他の駅は、駅舎等撤去後に駐輪設備、パーク&ライド用駐車場等として整備

●平成25年度の主な事業

- 自転車・遊歩道の概略設計、橋りょう耐震診断、踏切道暫定舗装
- 綿内駅と信濃川田駅のトイレ整備・駅舎耐震診断
- 松代駅の駐車場整備と駅舎耐震診断

18/54

③ 長野以北並行在来線への新駅設置

19/54

- 厳しい経営が予想され、安定的運行には利用促進が必要
- 新駅は、利便性を高め、利用者増加の効果が見込めることから調査

| 候補地 | 調査結果 | |
|-----------|--------|--|
| 長野駅・北長野駅間 | 施工性 | ➢新幹線高架と車両センター入出庫線の間への施工が困難 ➢住宅が密集し、駅舎・駅前広場の整備に課題が多い |
| | 利用者数 | ➢1日2,742人(住宅が多く、需要は高いと予測) |
| | 概々算事業費 | ➢12.7億円程度 ➢その他、補償費や運行システム改修の費用増加が大きい |
| 北長野駅・三才駅間 | 施工性 | ➢側道や北部幹線を含め道路整備状況が良い |
| | 利用者数 | ➢1日2,929人(住宅や高校があり、需要は高いと予測) |
| | 概々算事業費 | ➢4.7億円から10.7億円 ➢その他、補償費や運行システム改修の費用増加(中程度) |
| 三才駅・豊野駅間 | 施工性 | ➢アクセス道路新設が必要、駅舎等の整備は他より容易 |
| | 利用者数 | ➢1日757人(周辺に住宅が少なく、需要は他より低い) |
| | 概々算事業費 | ➢4.4億円から10.4億円 ➢補償費や運行システム改修の費用増加(中小程度) |

「北長野駅・三才駅間」への新駅設置に優位性が認められる

しなの鉄道ほか関係事業者等と協議し、新駅設置の実現に向けて作業

④ 新交通システム導入可能性（1/2）

20/54

主要な生活・観光の拠点、集客施設等をサービス水準の高いシステムで結ぶ、便利な移動手段として、「まちの魅力を高める」効果が期待

●事例研究として5つのルートを設定し、LRTとBRTを検討

| | | LRT(次世代型路面電車システム) | BRT(バス高速輸送システム) | | |
|---------|---|------------------------------------|-----------------|----------|-------------------|
| 条件設定 | 頻度等 | >6:00~24:00で15分間隔 >停留所:上屋と運行案内システム | | | |
| | 走行環境 | >中央走行方式 >公共車両優先システム(PTPS) >軌道整備 | | | |
| | 変電所 | >4~5kmごとに1箇所 | | | |
| | 車両 | >富山LRTタイプ | >連節バス | | |
| 算定内容 | >用地費(変電所、道路拡幅等)>土木費(走行路盤、橋梁改修等)>軌道費 >停留所費>諸建物費>電気費(信号設備、PTPS・運行案内設備等)等 | | | | |
| 検討ルート概要 | ルート | 営業距離 | 概算事業費(LRT/BRT) | 概算需要量 | 概算運行経費/年(LRT/BRT) |
| | 長野駅東口~旧松代駅 | 11.9km | 269億円 46億円 | 3,100人/日 | 5.3億円 2.6億円 |
| | 長野駅東口~善光寺 | 2.7km | 62億円 19億円 | 1,830人/日 | 1.2億円 0.6億円 |
| | 長野駅東口~若槻団地 | 7.4km | 164億円 37億円 | 3,750人/日 | 3.3億円 1.6億円 |
| | 長野駅東口~篠ノ井駅 | 14.2km | 271億円 56億円 | 3,090人/日 | 6.4億円 3.1億円 |
| | 長野駅東口~旧綿内駅 | 9.8km | 217億円 65億円 | 1,850人/日 | 4.4億円 2.1億円 |

④ 新交通システム導入可能性（2/2）

21/54

●事例研究設定ルートの検討概要

| | LRT | BRT |
|--------|---------------------|---------------|
| 概算事業費 | 約19億円~約23億円/km | 約4億円~約7億円/km |
| 概算利用者数 | 約1,800人/日~約3,700人/日 | |
| 概算便益 | 50年間で、約23.1億円~約50億円 | |
| 概算運行経費 | 約1億2千万円~約6億4千万円 | 約6千万円~約2億6千万円 |

一部ルートでは、採算性が確保される可能性が見込める結果

●全市的な大きな課題があり、短期整備は難しい状況

- >採算性確保のための需要の喚起 >既存バス路線への大きな影響
- >道路車線の減少による影響 >走行環境の確保と一般車乗入規制 など

●「公共交通ビジョン」の「市全体の公共交通体系の将来像」構築の中で検討

- >導入検討対象区間 :中心市街地長野地区を中心とした南北方向軸
- >導入検討対象システム:採算性や事業の難易度を考え、中期的にはBRT、長期的には、将来の需要喚起や技術革新等を勘案してLRTへの移行を検討

今後、これらをまとめた素案について、市民意見を伺った上で、審議会からの答申を受け、市として方向性を決めていく。

「中山間地域の魅力の向上」

22/54

中山間地域の現状

本市の中山間地域は、市域の4分の3を占め、人口は約1割が居住している。近年、過疎化・高齢化の進行による地域活力・地域社会の諸機能の低下、農林業の担い手不足、耕作放棄地、野生鳥獣被害の急増など、対応が必要な課題が山積している。



今までの中山間地域への支援

○長野市やまざと振興計画の策定・計画の推進（H22年度策定）

中山間地域が抱える課題を明らかにし、既存の施策事業を整理・体系化し、本市の中山間地域施策を総合的・計画的に展開している。

○長野市やまざと支援交付金（13地区住民自治協議会への補助）

事業費補助

中山間地域特有の課題解決のための事業等を実施した場合に60万円を上限に補助

人的補助（2年間の試行）

地域活性化推進員の雇用に対して120万円を上限に補助

23/54

①中山間地域活性化推進事業



長野市やまざとビジネス支援補助金

～あなたのビジネスチャレンジを応援します！～

1. 概要

中山間地域の地域資源を活用し、ビジネス（事業）を展開することにより、地域における雇用の創出や地域内への経済波及、地域の課題解決など地域の活性化につながる事業に補助するもの

2. 対象者

自らが事業主体となり、ビジネス（事業）を実施する個人や団体

3. 補助対象事業及び経費

対象事業：中山間地域の地域資源を活用し、5年以上継続して展開する事業
 対象経費：事業費の10分の8以内の額（1,000万円を上限）
 ：居住用家賃の2分の1以内の額（月額25,000円以内）

24/54

【参考】地域づくりを支援する補助制度

| | 地域やる気支援補助金 | ながのまちづくり活動支援補助金 |
|-------|--|--|
| 趣旨 | 地域のやる気を支援し、よりよい地域づくりを目指すもので、住民自治協議会からの事業提案を受けて、公開選考会で補助対象事業を決定 | 市民自らの自主的なまちづくり活動に対し資金面で支援するもので、公開審査会で補助対象事業を決定 |
| 対象 | 住民自治協議会 | NPOなど公益活動団体 |
| 予算額など | H25予算額：1,000万円 1地区100万円を上限に交付 | H25予算額：800万円 100万円～10万円の範囲で交付 |
| 交付予定 | (H25) 14地区16事業 | (H25) ○○事業 |

※同一事業に対する「やまざとビジネス支援補助金」との重複交付は不可

25/54

「地域農業の確立と経営基盤づくり」

「消費者や市場と結びつけた産地づくり」

26/54

新規就農者の確保・育成の推進

<事業の目的>

農業の担い手の減少、耕作放棄地の増加、農業生産基盤の弱体化、農業後継者問題、雇用問題を解決したい



農業の担い手の確保・育成
(市内外から就農希望者を募る)

<事業の内容>

○市の制度 新規就農者支援事業

①研修費助成

金額:年間 最大120万円
期間:最長3年間
条件:・おおむね40歳以下の者
・市が指定する研修の実施

②営農資金助成

金額:年間 最大120万円
期間:2年間
条件:・農業研修を修了していること
・10年以上市内で営農継続する

○国の制度

青年就農給付金事業

①準備型 ※申請先 県

金額:年間150万円 期間:最長2年間
条件:・就農時原則45歳未満の者
・県が指定する研修の実施

②経営開始型 ※申請先 市

金額:年間150万円 期間:最長5年間
条件:・原則45歳未満の者
・独立・自営就農者
・「人・農地プラン」に位置付けられた者

<就農者の実績>

(市) 新規就農者支援事業該当者数
23年度 21人(営農及び研修)
24年度 5人(研修)

(国) 青年就農給付金事業該当者数
24年度 32人(経営開始型及び準備型)

27/54

市民菜園開設補助金 (H25新規事業)

<事業の目的>

市内各地の住民自治協議会を母体とする法人等が行う「市民菜園」の開設を支援する。



・市民が農作業に親しむことにより農業への理解と関心が高まる。
・増加する遊休農地の解消につながる。

<補助対象>

- ① 住民自治協議会の役員か協議会から選出された者が1/2以上で構成された新たな法人
- ② 住民自治協議会と協働して「市民菜園事業」を行う法人
- ※ ①、②による法人が、「特定農地貸付法」を適用して開設する場合のみ

<補助内容>

1アール当たり
5万円以内

<補助対象経費>

- ① 客土、抜根・整地に関わる経費
- ② 測量・区画割経費
- ③ 土壌改良剤等の購入費
- ④ 広報宣伝等諸経費など
- ※ 法人の設立に関わる経費は対象外

28/54

売れる・もうかる農業の推進

- ・ **マーケティング強化による販売力向上**
(農産物等の宣伝・IT活用による販売促進)
- ・ **農産物の加工による付加価値の付与**
(農産物加工施設等支援事業)
- ・ **直売所による販売機能の充実**
(農産物直売所支援事業)



「売れる農業」
「もうかる農業」へ

- ・ 農業者等の所得向上
- ・ 農産物等の価格の向上
- ・ ブランド力の向上

6次産業化の推進

国(補助)



農業法人化推進

農業公社
(出資及び補助)

29/54

「ながのいのち」ブランド 長野市農業公社推進事業

“ながのいのち”ブランド・・中山間地域の農産物や特産品をブランド化して商品販売する

- ◇アンテナショップ「門前の館」（大門町）開設
 - ◇「ひっぱりだこ号」（移动版アンテナショップ運行）
- 農産物や加工品、ブランド商品を販売

(ブランドマーク)



(社)長野市農業公社 地産地消農産ネット



◇毎週火曜日に「ザ・ぎんざ にぎわい市」をT O i G O 広場で開催

◇開発・販売開始商品

- ① 鬼無里みそ・えごまラスク
- ② まこもどうふ
- ③ あとひき豆（西山産大豆の菓子）
- ④ カレーもつ
- ⑤ ほし〜な♡りんご姫(アップルパイ)ほか
- ⑥ ながののまんま弁当
- ⑦ 胡麻フィナンシェほか
- ⑧ すぐりフルーツソース など

30/54

搬出間伐の促進

31/54

森林の機能と森林整備の必要性

森林は、水源のかん養、災害の防止や温暖化の防止及び木材の生産など、多様な機能を有しています。これらの機能を最大限発揮するためには森林の手入れ（間伐等の森林整備）が必要です。

従来の間伐

手入れの遅れた森林を早期に整備するため、切捨て間伐を実施。



これからの間伐

間伐した木の有効活用のため、利用できる木を搬出。



木材の利用（木材・バイオマスエネルギー）

搬出された木材は、建築・土木用材としての利用、薪・ペレット・発電燃料などとして利用する。



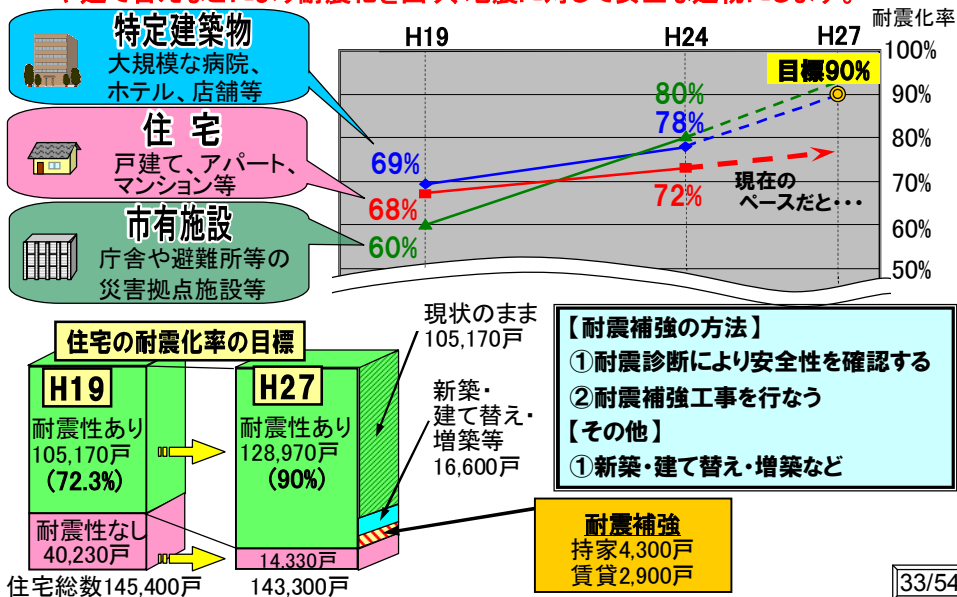
「防災体制の整備」

32/54

「長野市耐震改修促進計画」

H20年2月策定
H23年8月改定

S56年5月以前(旧耐震基準)に建てられた耐震性能が劣る建物を、補強工事や建て替えなどにより耐震化を図り、地震に対して安全な建物にします。



33/54

耐震化への取り組みを支援します

事業実施
H17～H27年度

| | |
|---|---|
| <p>持家・賃貸 耐震診断補助</p> <p>木造住宅 診断士を派遣して耐震診断を無料で実施</p> <p>非木造住宅 耐震診断費の3分の2以内、上限 8万6千円を補助</p> <p>特定建築物、分譲マンション等 耐震診断費の3分の2以内、上限 120万円を補助</p> <p>緊急輸送道路等沿道建築物 耐震診断費の3分の2以内、上限 200万円を補助</p> | <p>持家のみ 補強工事補助</p> <p>住宅耐震補強工事補助金 耐震補強工事費の2分の1以内、 上限60万円に、 <u>H24補正予算分に限り</u> プラス30万円 最高90万円を補助</p> <p>新 住宅耐震補強促進リフォーム補助金 (H25～H27まで) 耐震補強工事と同時に行う リフォーム工事費の15%以内、 上限10万円を補助</p> |
|---|---|

※いずれも条件がありますので、事前に建築指導課へご相談ください。 34/54

新第一庁舎・新市民会館の 外観図



■街並みに配慮した建築

- ・屋根をもつ特徴的な外観
- ・通り沿いの軒の高さを抑え、親しみの持てる街並みを形成

設計：(株)楨総合計画事務所 (代表楨文彦氏)
長野設計共同組合 設計共同企業体

35/54

新第一庁舎・新市民会館の建設概要

| | ① 新第一庁舎 | ② 新市民会館 |
|--------------|---|---|
| 建設目的 | ・耐震性の確保 ・市民サービス機能の向上 | ・質の高い文化芸術拠点の設置 |
| 構造 | 両施設の合築(一体免震構造) 地上8階、地下2階 | |
| 面積 | 約15,800㎡ | 約12,200㎡ |
| 事業費 (予算額) | 151億円 (庁舎70億円、市民会館81億円) 合併特例債、国庫補助、整備基金(43億円)の活用により、 市の新たな負担は全体で10.1億円 | |
| 主な 施設内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部機能の強化 ・総合窓口(ワンストップサービス)や市民交流スペースの設置 ・環境に配慮した施設(地中熱利用、太陽光発電など) ・バリアフリー対応 ・議会機能の充実 | <p>《専門性の高い特色あるホール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール… 1300席程度 音楽主目的(演劇・講演等も対応) ・小ホールA…300席程度 音楽ホール ・小ホールB…200～300席程度 小劇場(演劇・展示など) <p>《創造支援機能の充実》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハーサル室、練習室等 |

36/54

新第一庁舎・新市民会館の鳥瞰(ちょうかん)図



37/54

新市民会館 大ホール



新市民会館 小ホールA(音楽ホール)



新市民会館 小ホールB(小劇場)



40/54

新第一庁舎・新市民会館の 財源及び負担額(試算)

| (金額:億円) | | 従来公表額 | | |
|---------|--------------------|--------------|--|--------|
| 事業費 | | 134 | → | 151 |
| 財源 | 補助金 | 8.5 | ・従来の134億円は、 建て替え検討時に、 他市の類似施設の 決算ベースでの建 設費を参考にした 金額 | 13.4 |
| | 合併特例債 | 104 | | 120.8 |
| | 一般財源 | 21.5 | | 16.8 |
| | | | | 97.9 |
| 負担 | 国の負担額 ()内は特例債分 | 81 (72.5) | | (84.5) |
| | 市の負担額 | 53 | → | 53.1 |
| 積立基金 | | 43 | | 43 |
| 新たな負担額 | | 10 | → | 10.1 |

・設計途中の積み上げによる予算ベースの全体事業費
 ・地下掘削費増、面積増、工区分割などの追加要因による増加を含む

・財政面では、国等との協議により補助金の増額を見込んでおり、市の負担額は、これまでと同程度か、設計の精査や入札実施の結果により、負担は減る見込み

※事業費は、建設工事費、既存建物解体費、標準的な外構整備費、設計・管理費などを含む。

※次の内容は上記の事業費には含まない。

・駐車場整備費(立体P含む) ・第二庁舎改修費 ・周辺道路整備費 ・駐車場有料化費用

※合併特例債の金額は借入額(元金)で、利子分は含まない。

41/54

(仮称)長野市民文化芸術会館 運営管理実施計画 (H25.4)

■「(仮称)長野市民文化芸術会館」の4つの役割

育む

- ・市民の文化芸術体験の促進
- ・文化芸術に触れる機会の提供・支援

楽しむ

- ・舞台芸術の鑑賞機会の提供・支援
- ・施設ににぎわいをもたらす事業実施

創る

- ・発表・展示の機会提供や創作・練習活動の実施・支援
- ・市民ディレクターやボランティア活動・協働

つなぐ

- ・文化施設間の連携
- ・文化芸術関連情報の受発信
- ・交流の場の提供、次世代への継承

➤「(仮称)長野市文化芸術振興財団」の設立を予定

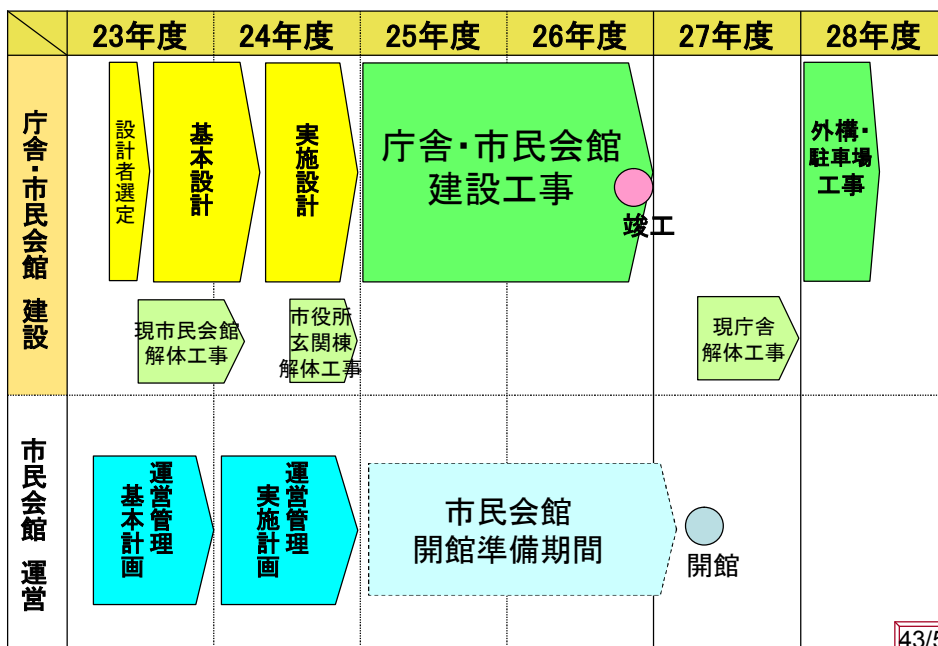
- ・市の文化芸術振興を一貫して専門的、継続的に行う組織
- ・新会館の文化事業運営を行い、「4つの役割」の実現を目指す。

➤中長期構想「ながのビッグバン・プロジェクト」を設定

- ・新会館の開館から20年を目標の区切りとし、5年ごとの達成目標を設定して、具体的な取り組みを整理

42/54

新第一庁舎・新市民会館の 事業全体スケジュール



43/54

「スポーツ環境の整備・充実」 「文化芸術活動への支援と 文化の創造」

44/54

(仮称)北部地域スポーツ・レクリエーションパーク建設事業

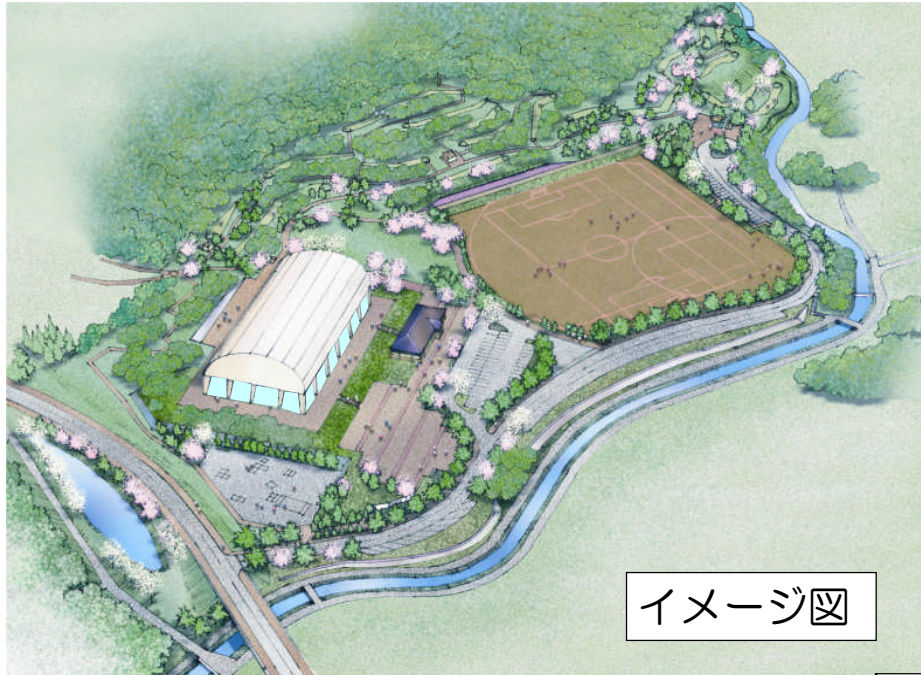
市北部地域のスポーツ・レクリエーションの拠点施設として、平成15年度から事業に着手し、26年3月の完成を目指しております！

至 豊野駅



至 北長野駅

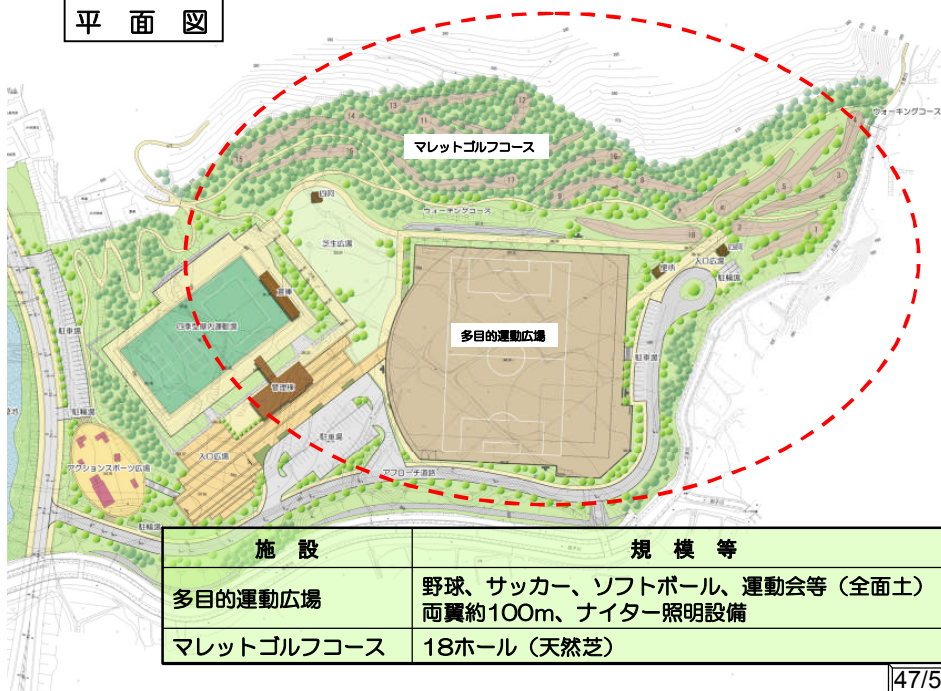
45/54



イメージ図

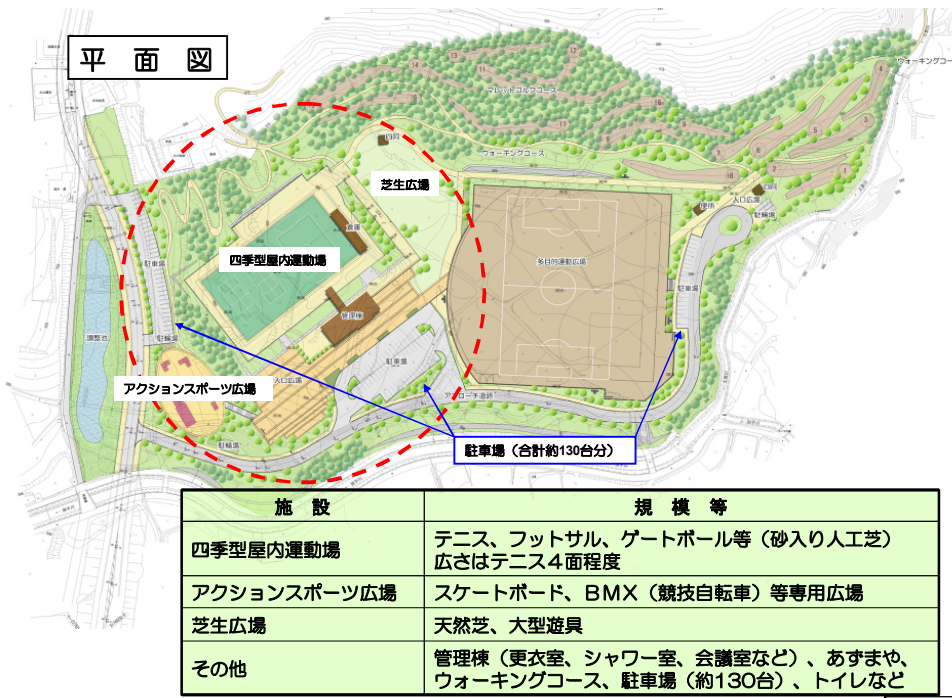
46/54

平面図



| 施設 | 規模等 |
|------------|--|
| 多目的運動広場 | 野球、サッカー、ソフトボール、運動会等（全面土） 両翼約100m、ナイター照明設備 |
| マレットゴルフコース | 18ホール（天然芝） |

47/54



48/54

南長野運動公園総合球技場整備事業

「スポーツを軸としたまちづくり」を実現するため、地域のサッカーチーム「AC長野パルセイロ」のJリーグ昇格を視野に、南長野運動公園総合球技場を1万5千人が収容できる**J1基準**を満たすスタジアムに改修します。

《4面屋根のコンパクトな総合球技場》
 ▶ 収容人数 15,525人 ▶ 駐車台数 約 900台（公園全体で約1,400台）



49/54

整備スケジュール、市民意見の募集



- 平成25年度は、**設計業務**と**解体工事**を行います。
- 設計業務が完了し、本体の**建設工事**を発注します。
- **平成27年3月 供用開始予定**
⇒パルセイロの成績などによっては、H27年(2015シーズン)からのJ2昇格が可能

～プロポーザル方式(提案競技)により、事業の設計者・施工者を選定～
 ★ホームページに事業概要を掲載し、意見募集を実施中
 <平成25年4月30日まで>
 ★市民意見のうち、可能なものは設計に反映し、結果をホームページなどで公表

50/54

スタジアムの完成後は、サッカーのJリーグ、なでしこリーグ公式戦のほか、ラグビー、アメリカンフットボールなど各種競技の国内トップリーグや国際試合、小・中・高校生やジュニアユースの大会、スポーツ教室などに活用し、スポーツの振興やアスリートの育成、交流人口の拡大による地域の活性化などにつなげます。

※2019年(平成31年)に日本開催が決定しているラグビーワールドカップでの活用も見込まれます。

「スポーツを軸としたまちづくり」の実現に向けて



51/54

子どものための文化芸術プログラムを行います

～豊かな感性を育むために、文化芸術に親しむきっかけづくりの提供～

小学生親子を対象とした音楽鑑賞会(1回)

小学5年生を対象とした
音楽鑑賞会(1回)

小学6年生を対象とした
ミュージカル鑑賞会(1回)

児童合唱団・ジュニアコーラス
合同ワークショップと発表会



52/54

街角に音楽があるまちづくりを進めます

トイゴ広場など中心市街地で市民コンサート
を開催し、発表機会と鑑賞機会を確保します。

H24年度 11回
(77団体 1,011人出演)



まちなかに音楽を通じた賑わいづくりを目指します

53/54

野外彫刻ながのミュージアム事業



昭和48年の事業スタート以来、作品数は24年度末で144点となり、民間事業者等の設置も含めると200点を超え、**日本有数の野外彫刻都市**となりました。



全国的にも毎年継続して受賞作品を設置している都市の例はなく、今後も継続設置し、日本を代表する野外彫刻都市として、さらに、歴史と伝統を重ねます。



中心市街地に新たに2点設置

野外彫刻めぐり、野外彫刻PRイベントの開催

野外彫刻写真コンテスト及び同作品展の開催

54/54

【参考資料】

長野市総合計画審議会委員名簿

(50音順、敬称略)

| 職 名 | 氏 名 |
|-----------------------|-----------|
| 大岡地区住民自治協議会会長 | 市 川 豊 樹 |
| 長野市消防団副団長 | 猪 俣 正 由 |
| 前長野市PTA連合会総務委員長 | 内 山 咲 子 |
| NPO法人まめってえ鬼無里理事長 | 大 日 方 聰 夫 |
| 六次産業化法認定者 | 北 村 典 子 |
| 長野郷土史研究会副会長 | 小 林 玲 子 |
| 公募委員 | 酒 井 哲 夫 |
| 公募委員 | 島 田 浩 美 |
| 社団法人長野青年会議所 信州里山塾 前塾長 | 高 木 亜 矢 子 |
| 社団法人長野市薬剤師会会長 | 谷 憲 昭 |
| 信州新町観光協会理事 | 中 村 久 美 子 |
| 信州大学名誉教授 | 藤 沢 謙 一 郎 |
| 社会福祉法人円福会理事長 | 藤 本 光 世 |
| 公募委員 | 宮 下 勇 人 |
| 長野経済研究所調査部長代理兼上席研究員 | 宮 前 肇 |

任期：H24. 7. 20～H26. 7. 19（職名は就任時のもの）

以上15名（平成25年4月1日現在）

長野市部局長名簿

| | 職 名 | 氏 名 |
|----|------------|-----------|
| | 総務部長 | 寺 田 裕 明 |
| | 企画政策部長 | 柳 沢 宏 行 |
| | 地域振興部長 | 西 沢 昭 子 |
| | 財政部長 | 山 澤 謙 一 |
| | 生活部長 | 金 井 隆 子 |
| | 保健福祉部長 | 駒 津 善 忠 |
| | 環境部長 | 小 林 博 |
| | 商工観光部長 | 小 山 耕 一 郎 |
| 新任 | 農林部長 | 三 井 和 雄 |
| | 建設部長 | 藤 田 彰 |
| 新任 | 都市整備部長 | 根 津 恵 二 |
| 新任 | 教育次長（行政担当） | 藤 沢 孝 司 |
| | 教育次長（教育担当） | 中 村 正 昭 |
| 新任 | 上下水道局長 | 内 堀 政 行 |
| | 消防局長 | 岩 倉 宏 明 |

（平成25年4月1日現在）

長野市総合計画審議会 企画課事務局体制

| | | 職・氏名 | 総合計画担当分野 |
|----|------|--------|-------------|
| 新任 | 課長 | 西島 勉 | |
| | 課長補佐 | 横山 暁 | |
| | 係長 | 望月 徹 | 総括 |
| | 主査 | 村木 裕一郎 | 行政経営、環境 |
| | 主査 | 柳澤 真由美 | 防災・安全、教育・文化 |
| | 主事 | 奥田 由香里 | 保健・福祉 |
| 新任 | 主事 | 白澤 哲也 | 産業・経済、都市整備 |

平成 25 年 4 月 1 日現在

企画政策部 企画課

住所 〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1 6 1 3 番地

電話（直通） 2 2 4 - 5 0 1 0

F A X 2 2 4 - 5 1 0 3

Eメール kikaku@city.nagano.lg.jp

長野市総合計画審議会の開催予定等について

| 日 時 | 内 容 |
|---|--|
| 平成 25 年 4 月 24 日 (水) 〔 15:00~16:30 〕 | <p>平成 25 年度 第 1 回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第四次長野市総合計画 実施計画について <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度版 第四次長野市総合計画 実施計画（主要事業計画） ・平成 25 年度「市政方針」 |
| 平成 25 年 8 月 28 日 (水) 〔 15:00~17:00 〕 | <p>平成 25 年度 第 2 回開催【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第四次長野市総合計画 後期基本計画の進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度 第四次長野市総合計画 後期基本計画実施状況（指標進捗） ●人口減少に対応するための検討 など |